



役場新庁舎が完成

1月6日から業務開始



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」



東由利町功労者表彰式 並びに新庁舎・合同竣工式

新庁舎はバリアフリー構造



▲関係者ら300人が祝い合った



▲表彰状を受け取る町功労者

老万字橋脇に建設中の役場新庁舎がこのたび完成し、開所式が十一月二十日、現地で行われました。

式には阿部幸悦町長をはじめ町議会議員、工事関係者、自治会長など約百人が出席。神事の後、阿部町長や遠藤議会議長などがテープカットを行い完成を祝いました。

新庁舎は、延べ床面積二千八百五・八平方メートルで鉄筋コンクリート造三階建て。外壁は直線を基調としたコンクリー

ト打放しでシンプルな外観が特徴で、窓口の待合スペースは二階まで吹き抜けとなっており、大きな窓と広い空間が開放感を与えてくれます。

事務の効率化と住民サービスの向上を目指し、全てのフロアーにOAネットワーク用の設備を整え、IT時代に向けた情報サービスに対応。三階の展望台を含む各階エレベーターや出入口自動ドアなど、建物はバリアフリー構造となっています。また、氷蓄熱式の冷暖房で環境にも配慮されています。

今月中には引越越し作業を終え、来年一月六日に業務開始予定となっています。

開所式に続き、「東由利町功労者表彰式並びに新庁舎・合同竣工式」が健康増進センターで、開所式出席者のほか国・県の関係者、近隣の首長・議長など約三百人が出席して行われました。

はじめに、町功労者の笹本幸氏、小番銚平氏、畑山良一氏の三氏に、阿部町長から表彰状が授与され、三氏それぞれの主人、夫人には花束が贈呈されました。

次に、東由利町まちづくり奨励賞の授与が行われ、故鈴



▲式辞を述べる阿部町長

木龍太郎氏に代わり、カチ子夫人に表彰状が手渡されました。続いて、新庁舎建設に係わった業者や記念品寄贈者に感謝状が贈られました。

阿部町長は式辞の中で、功労者について「それぞれの功績に心から敬意を表する」とあいさつ。役場新庁舎など竣工した六事業について「第一次産業の基盤整備が促進され、町民生活の快適性が一段と向上するところであり、また、新庁舎を礎として、さらなる町民の福祉の向上と安定を図っていきたい」と述べました。

祝賀会では本町出身の浅野和子さん一行による民謡などで宴を盛り上げ、最後に秋田県町村会副会長の今野正彬、岡町長の音頭により万歳を三唱し、盛会のうちに表彰式・合同竣工式を終了しました。



3 F



▲大会議室



▲会議場



2 F

新庁舎平面図



1 F



▲OAネットワーク用の設備が整えられた1階事務室



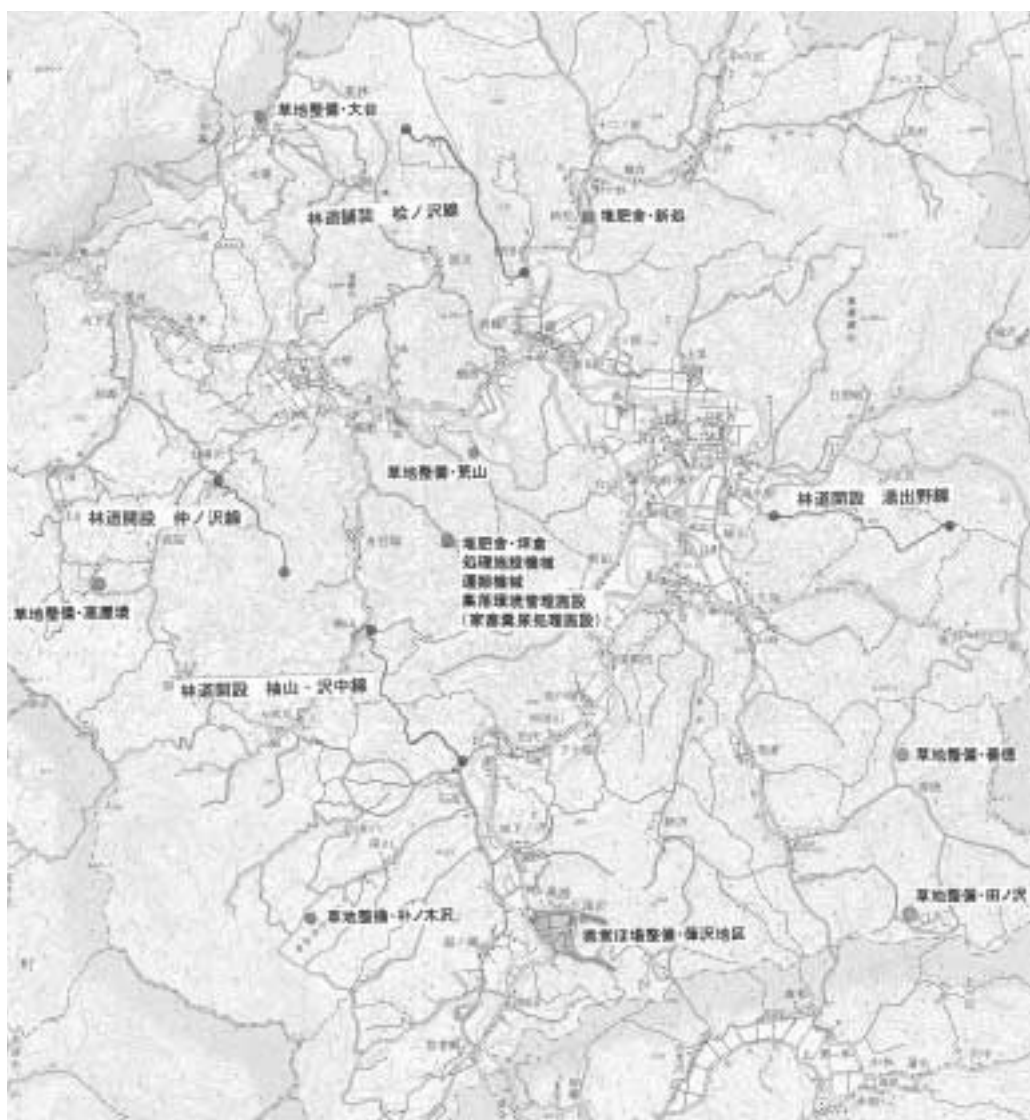
▲町功労者高橋宏幸氏の原画を基に作られたレリーフが飾られたロビー



▲2階まで吹き抜けとなっている窓口待合スペース

竣工した5事業を紹介します

本町の基幹産業である第一次産業の基盤整備として進められていた五事業（県営ほ場整備・担い手育成基盤整備事業、畜産経営環境整備事業、中山間地域総合整備事業、林業地域総合整備事業、間伐等森林整備促進緊急整備事業）が完了。その事業概要についてご紹介します。



●県営ほ場整備

◎担い手育成基盤整備事業

- 一、所在地 律沢地区
- 二、工事内容
 - 整地工Ⅱ 二二・九
 - 道路工Ⅱ 三、三三三
 - 水路工Ⅱ 一〇、一九八
 - 暗きょ排水Ⅱ 二二・九
- 三、事業費 四億八千万円



▲県営ほ場整備・担い手育成基盤整備事業(律沢地区)

●畜産経営環境整備事業

①朴ノ木沢地区

- 一、所在地 田代字朴ノ木沢地内
- 二、工事内容
 - 草地整備Ⅱ 二・一
- 三、事業費 二百八十二万五千円

②大台地区

- 一、所在地 宿字大台地内
- 二、工事内容
 - 草地整備Ⅱ 一・五

③善徳地区

- 一、所在地 館合字善徳地内
- 二、工事内容
 - 草地整備Ⅱ 一・〇
- 三、事業費 四百五十七万八千円

④荒山地区

- 一、所在地 宿字荒山地内
- 二、工事内容
 - 草地整備Ⅱ 一・八
- 三、事業費 四百万七千円

⑤高屋境地区

- 一、所在地 杉森字高屋境地内
- 二、工事内容
 - 草地整備Ⅱ 〇・六
- 三、事業費 百四十三万九千円

⑥田ノ沢地区

- 一、所在地 館合字田ノ沢地内
- 二、工事内容
 - 草地整備Ⅱ 一・四
- 三、事業費 百五十万二千元

⑦新処地区

- 一、所在地 法内字新処地内
- 二、工事内容
 - 堆肥舎一棟
- 三、事業費 二百二十九万一千円

⑧坪倉地区

- 一、所在地 館合字坪倉地内
- 二、工事内容
 - 堆肥舎一棟
- 三、事業費 二百二十九万一千円

⑨坪倉地区

- 一、所在地 館合字坪倉地内
- 二、工事内容
 - 堆肥舎一棟
- 三、事業費 二百二十九万一千円

⑩坪倉地区

- 一、所在地 館合字坪倉地内
- 二、工事内容
 - 堆肥舎一棟
- 三、事業費 二百二十九万一千円

⑪坪倉地区

- 一、所在地 館合字坪倉地内
- 二、工事内容
 - 堆肥舎一棟
- 三、事業費 二百二十九万一千円

⑫坪倉地区

本荘由利1市7町

合併協議準備会が発足

県の合併重点支援地域に



▲重点支援地域の指定書を受け取る阿部町長

本町を含む本荘由利一市七町の市町長・議長協議会が十月二十八日、本荘由利広域行政センターで開かれ、全八市町が参加する合併協議準備会を発足させました。

同準備会は、八市町の助役と合併担当課長で構成する特別法に基づかない任意の協議会で、情報交換や事務事業の整理など法定合併協議会設置に向けた準備等を行うものです。

十一月一日には、第一回準備会が同センターで開か

れ、会長に鷹照賢隆・本荘市助役、副会長に本町の小松久男助役がそれぞれ選ばれました。

また、同日、一市七町は県の合併重点支援地域に指定され、各市町長に県由利地方部の石山修部長から指定書が交付されました。

準備会の後に行われた交付式では、柳田本荘市長が「法定協議会設置を目指し、一市七町で力を合わせて頑張りたい」とあいさつしました。

このたびの指定により、

【総務課】
総務課長兼財政係長（総務課長 畠山基保）

【企画課】
企画振興係長・本荘由利一市七町合併協議準備会事務局勤務（総務課財政係長 遠藤晃

人 事 異 動

（平成十四年十二月二日付）

- 中山間地域総合整備事業
- ◎家畜糞尿処理施設
- 一、所在地 館合字坪倉
- 二、工事内容 管理棟Ⅱ三四・七〇平方
堆肥発酵棟Ⅱ二、一三八
・〇六平方
- 三、事業費 九千円

- 三、事業費 五千三百八十八万四千円
- ⑨新処地区他
- 一、所在地 法内字新処地内他
- 二、工事内容 運搬機械八台
- 三、事業費 一千百七十八万九千円

- 三、事業費 一億二千八百万円
- ⑩間伐等森林整備促進緊急整備事業
- 一、所在地 法内字野田地内
- 二、工事内容 林道舗装
- 延長Ⅱ二、四一八
- 幅員Ⅱ四・〇
- 三、事業費 六千九百万円



▲袖山・沢中線

- 二億九千四百九十万円
- 林業地域総合整備事業
- ①袖山・沢中線
- 一、所在地
- 起点・田代字袖山八一―一
- 終点・田代字片符沢五五
- 延長Ⅱ三、四九八
- 幅員Ⅱ四・〇
- 二、工事内容 林道開設
- 三、事業費 二億九千四百二十万円



▲仲ノ沢線

- 三、事業費 二億九千四百二十万円
- ②仲ノ沢線
- 一、所在地
- 起点・宿字大金八九
- 終点・宿字仲ノ沢一
- 延長Ⅱ一、八〇〇
- 幅員Ⅱ四・〇
- 二、工事内容 林道開設
- 三、事業費 二億一千万円



▲湯出野線

- 三、事業費 二億一千万円
- ③湯出野線
- 一、所在地
- 起点・老方字湯出野一四一
- 終点・館合字堂ヶ沢五三
- 延長Ⅱ一、六六〇
- 幅員Ⅱ四・〇
- 二、工事内容 林道開設
- 三、事業費 一億二千八百万円



▲間伐等森林整備促進緊急整備事業

八塩小20周年記念式典

節目を迎え、さらなる飛躍を期待

「心身ともにたくましく 気迫に満ちた子どもの育成」を教育目標に掲げ、これまで五百十人の卒業生を送り出した八塩小学校の創立二十周年記念式典が十一月十五日、同小学校で行われました。式典には児童や関係者など約二百人が出席、同校の伝統と歴史を振り返り、さらなる飛躍を誓いました。



▲児童代表のあいさつをする畑山千穂さん

式典では、齋藤松一郎校長が「二十一世紀は、まさに子どもの世紀。児童の幸せの実現を可能にするとともに、社会に貢献できる立派な子どもたちの育成を目指したい」と式辞。続いて、阿部幸悦町長が「四月から完全学校週五日制が始まったが、学校だけに任せず、行政や地域も一緒になって子どもたちの未来を育てていきたい」とあいさつしました。

児童代表のあいさつでは、六年生の畑山千穂さん（館倉新田）



▲このたび発行された創立20周年記念誌

最後に全員で校歌を合唱し、出席者は新しい門出にあたってそれぞれの意気込みを新たにしていました。

が「八塩小学校は少人数だけどもんな仲良く、いいところがたくさんあります。これからも元気いっぱい明るい学校でいてほしいです」と述べました。



▲式後に行われた記念アトラクションでは全校児童が元気に合唱

八塩小学校20年のあゆみ

- ◆昭和57年4月1日 東田利町立八塩小学校創立旧住吉小学校で授業を行う
- ◆同年12月18日 新校舎へ移転始まる
- ◆同年12月23日 八塩小学校竣工式
- ◆昭和58年3月9日 校歌制定、同日発表会
- ◆同年6月12日 グラウンド完成記念大運動会
- ◆同年10月5日 校旗完成
- ◆平成3年4月22日 私服の自由化開始
- ◆平成4年7月6日 新プールの開所式
- ◆同年11月18日 創立10周年記念式典
- ◆同年12月21日 タイムカプセル埋設
- ◆平成9年11月20日 平成9年度「優良PTA」として文部大臣より団体表彰
- ◆平成11年5月29日 インターネット取り付け工事を行う
- ◆平成14年10月4日 5年連続で「県よい歯の学校表彰」を受ける
- ◆同年11月15日 創立20周年記念式典

秋の叙勲

笹本氏、大庭氏が受章

平成十四年秋の叙勲で、今年町功労者の笹本幸氏（蔵・七十三歳）が勲五等瑞宝章を、前東由利町選挙管理委員会委員長の大庭喜右衛門氏（船木・七十三歳）が勲六等瑞宝章を受章しました。

笹本氏は、昭和二十九年に歯科医
院を開業後、今日まで歯科診療一途

勲五等瑞宝章 学校保健功労



笹 本 幸 氏
(73歳・蔵)

に従事され、僻地における医療保健の向上に貢献されました。昭和三十年からは東由利村立蔵・宿・袖山小学校、玉米・下郷中学校の学校歯科医に委嘱され、以来四十七年有余にわたって児童・生徒の虫歯治療や予防活動を積極的に行い学校保健の向上に尽力。医療を通して本町の民生安定と向上に多大な貢献をされました。

大庭氏は、昭和三十五年第九回国
勢調査の調査員に任命されて以来、

勲六等瑞宝章 国勢調査功労



大庭 喜右衛門 氏
(73歳・船木)

平成十二年の第十七回まで九回連続四十一年間の長きにわたり国勢調査に従事してこられるなど、統計調査事業の啓蒙・普及に尽力されました。また、調査事務以外でも昭和四十七年まで、地域の消防団員として活躍。現在においては町選挙管理委員を務めるなど、地域社会の発展に寄与されています。

十四日朝、入り口の戸を開けてびっくりしました。四十もの雪が積もっており、しかも重い雪でした。

今年は春先から異常続きの天候でした。春の異常な高温、八月の低温曇天そして秋の長雨と心配したことでした。昨冬も早い雪で、しかもそれがそのまま根雪になってしまった冬でしたが、今年はそれを上回るほどの早い積雪でした。午前九時の気象庁発表では東由利四十四 ということで、由利郡内では一番の積雪量を記録したとのことでした。収穫間近のリンゴが重い雪のため枝折れをするなど県内でも大きな被害が出ましたが、町内でも被害に遇われたことです。お見舞い申し上げます。

偶然にもこの日に合わせたかのように除雪機の出陣式と安全祈願祭がありました。オペレーターの皆さんには自分の健康もしっかり管理して早朝からの除雪作業に万全を期してもらいたいと願いましたことです。

除雪会議もありましたが、改めてお集まりの皆さんに留意点を確認をしたりして、今年の冬の除雪に備えたことです。日本一の除雪といわれるように頑張りたいとご挨拶しましたことです。今冬から、午前六時三十分までには国道・県道・町道・農道・林道合わせて百四十四 の除雪を終えることを目標にしております。

二十日には町功労者表彰式と新役場庁舎の竣工を合わせ六事業の合同竣工

町長日記

式典がありました。こういう日は天気が大変気になるもので、予報では雨マークで覚悟もしたことでしたが、朝起きたら久しぶりの晴れ模様でほっとしたものでした。

体育館に三百人もの町内外のお客さんをお迎えして式典を行い、お祝いを致しました。功労者の笹本先生、小番さん、畑山さんのご三方はご夫婦で一緒に、また町づくり奨励賞の鈴木先生には奥様にお越しを頂きました。表彰状を読み上げてそれぞれのご功績に感謝を致したことです。

新役場庁舎の竣工には、建設に当たった業者の代表の皆さんに誠実な取り組みに感謝を申し上げたことです。またこの機会にと浄財やら貴重な美術品をご寄付頂いた皆さんにも感謝状をさしあげたことでした。

三百人もの町内外のご来賓を始めとする皆様をお迎えするということは、裏方を務める職員も大変なことです。先に申し上げたように天気の心配などはまだいいほうで、沢山の気苦労があることですが、まずはほぼ完璧な式典ができたことでした。町外からのご来賓にも大変ほめられたことでした。

気ぜわしい十一月が終わり、いよいよ冬本番に入ります。除雪対策の態勢は出来ましたが、あまりきつい冬でないように願いながら師走を迎えたいものです。

55年の歴史に幕

ありがとうさようなら 下郷分校



▲生徒を代表してあいさつする佐藤健二さん

式典では、高橋一成校長が「下郷分校は、学問やスポーツなど数多くの実績を上げてきた。最後の卒業生十三人には五十五年の最終ランナーとして威風堂々とがんばってほしい」と式辞。阿部幸悦町長が「最後となるこの年に十三人の生徒たちは大きな存在感を示して有終の美を飾り、私たちに多くの感動を与えてくれた」とあいさつしました。続いて、最後の分校生となる十三人を代表して生徒会長の佐藤健二さん（新町）が「十三人という少人数だったが、軟式野球などみんなで力を合わせ素晴らしい経験ができた。この地域に根ざした分校での三年間は他の誰よりも幸せな高校生活だった。母校

その後、分校教育の振興発展に多大な貢献をしたとして、高橋校長から教育振興会長や同窓会長など十五人二団体に、また、分校草創期から長年にわたり定時制教育に尽力したとして同窓会から同窓会顧問の小松順之助氏に感謝

はなくなってしまうが、石碑に刻まれた「教学之地」を心のよりどころとし、その大きさに負けない堂々とした人生を歩みたい」と力強く述べる。と、会場から大きな拍手が沸き起こりました。



▲会場には多くの人が訪れ分校との別れを惜しんだ

来年三月に閉校する本荘高等学校下郷分校の閉校式典が十一月二日、同校の体育館で厳かに行われました。式には在校生や卒業生など約二百六十人が出席し、五十五年の歴史を持つ分校に別れを告げました。

分校歌

菊地三男 作曲
小松敏勝 作詞

一、巨人の英姿 鳥海の
麓に近き みのりの地
詩情 豊けき 高原に
真を究めん まこともて
働き 学ぶ 若人よ
われら 下郷高校生

(二番以下繰返し)

二、その名も 高瀬 水の音に
愛と 平和の ひびきあり
次元の幸に さきがけて
善を とめつつ 道に生き
高き 理想に はばたかん

三、希望の光り さんさんと
今ぞ この地にひらめきて
夢は 無限に ひらけたり
美に輝ける 慧知もて
世紀の 偉業 いざ成さん



状が贈呈されました。

最後に、出席者全員で校歌と分校歌を高らかに斉唱し、出席者は分校との別れを惜しみながら式典を閉じました。



▲記念講演をする遠藤氏

「分校での経験が生きる」

遠藤氏が記念講演

式後には、本町出身で下郷分校二期生として入学した東京農工大学名誉教授の遠藤章氏が「新薬開発の歴史」と題して記念講演を行いました。

遠藤氏は一九七〇年代、カビから「メバスタチン」を発見・解明し、コレステロール低下薬「スタチン」を開発。講演では新薬開発に至るまでの苦労などを紹介し、「家業の農業をしながら分校で学んだ経験が新薬開発に生かされている」と話しました。

「分校に思いを

馳せてほしい」

校舎前に記念碑が建立

十月二十八日には、式典に先駆けて記念碑が校舎前に建立され、除幕式が行われました。

式には、在校生や卒業生、職員など約五十人が出席。神事の後、出席者全員でロープを引っ張って記念碑の幕を外し、建立を祝いました。

閉校記念事業実行委員長で同窓会長でもある佐々木長円氏は「校舎がなくなっても、記念碑があればいつでも分校に思いを馳せることができ。卒業生がこれからの人生において壁にぶつかったときなど、分校時代を思い出し、一息つけるような場所になってほしい」と話しました。



▲校舎前に建立された記念碑

道の駅のあり方を探る

道の駅と 地域づくりフォーラム

道の駅のあり方を探る「道の駅と地域づくりフォーラム」が十月二十九日、有鄰館で行われ、道の駅を持つ県内二十二市町村の関係者約二百二十人が参加しました。

当日は開会行事に続いて、阿部幸悦町長をはじめ、東北道の駅連絡会会長の菅野俊吾

岩手県陸前高田市市長、佐藤仁一宮城県岩出山町長、作家の田村喜子氏が、「道の駅と地域づくりを考える」をテーマにパネルディスカッション。

コーディネーターは秋田魁新報社編集委員・穴戸豊和氏が務めました。

道の駅のあり方について阿部町長は「道の駅は日常のコミュニケーションの場となるとともに、情報発信基地としての役割が期待される」、菅野市長は「災害に備え避難場所としての役割も与えた」、佐藤町長は「誰でも気軽に立ち寄れるようにトイレは快適にすべき」とそれぞれ述べました。

その後、田村氏が「浪漫列島 道の駅から」と題して講演。同氏が訪れた全国の道の駅について紹介し「地域の風土を生かして作った道の駅がその町の核になるにちがいない」と訴えました。



▲講演する田村喜子氏



除雪安全祈願祭



▲除雪の安全を祈願する関係者

除雪安全祈願祭が11月14日、役場車庫で行われ、阿部幸悦町長や小松町議会副議長、除雪オペレーターなど関係者約40人が冬期除雪の安全を祈願しました。

今年は例年より降雪が早く、祈願祭を待たずに除雪車が稼働しています。神事の後では、阿部幸悦町長が「住民の生活空間確保のため、効率よく作業を進めてほしい」とあいさつ。続いて除雪車の始動式が行われ、関係者は除雪に対する心構えを新たにしていました。

浅利香津代「霜月の宴」



▲観客を魅了した浅利さんの舞踊

浅利香津代・舞台公演「霜月の宴」が11月7日、町民体育館で行われ、約250人の観客が会場に訪れました。

浅利さんの公演は平成6年の一人芝居以来で、今回は趣向を変えて日本舞踊や朗読などを披露し観客を魅了。そのほか、ジョイントで立川ぜん馬さんによる落語も行われました。



▲落語で場内を沸かせた立川ぜん馬さん

大火防止訓練



▲本番さながらの訓練を展開

東由利町大火防止訓練が11月3日、黒淵地区で行われ、町消防団や地元婦人消防隊員、地域住民など約250人が参加しました。

訓練では、大規模地震により倒壊した家屋から火災が発生、飛び火により八坂神社付近の山林で二次火災が発生した場合を想定し、消火活動や避難、負傷者の救助など本番さながらの訓練が展開されました。

およそ一時間にわたる訓練を終えた参加者は、防火意識の高揚と日ごろの訓練の大切さを確認し、大火防止に対する決意を新たにしていました。

ニュース & トピックス



▲日本一の素牛を育てた武田さん

このたび、武田玲子さん（宿）が生産した肥育素牛が第四回J A全農肉牛共励会で名誉賞を獲得しました。

武田さんの素牛が最高値で取引

全農肉牛共励会で名誉賞

武田さんの子牛は、山家賢蔵さん（宮城県金成町）が肥育し、共励会に出品。二十一都道府県から二百頭の牛が出品されたセリで、一当たり七千十一円の最高値で取り引きされました。

畜産業が盛んな本町から、まさに日本一の牛が生み出されました。牛肉消費が低迷する中ではありますが、本町の畜産業にとって明るい話題となりました。



▲11月から共同生活を送る生徒たち

十七人が集団生活スタート

東中寄宿舎入舎式

東中寄宿舎入舎式が十一月十一日、現地で行われました。

今年入舎する生徒は一年生七人、二年生三人、三年生七人の計十七人。

式では全員点呼の後、川村和雄校長が「寄宿舎生活は自分を鍛えるいい経験になる。みんなで協力してお互いに学び合ってほしい」と入舎生徒を激励しました。入舎生徒は、小田滋講師を中心に来春まで共同生活を送ります。



▲特別優秀賞に輝いた母子寡婦福祉会の花だん

母子寡婦福祉会が特別優秀賞

全県花だんコンクール

このたび平成十四年度全県花だんコンクールが行われ、本町の東由利町母子寡婦福祉会が職域部門・団体の部で特別優秀賞に輝きました。

このコンクールは、花と緑に囲まれた快適な生活環境を、学校・地域などに、普及させようと毎年行われているものです。

同会の花だんは跡見坂の丁字路に作られており、道行く人々の目を楽しませました。

このほか、本町からは自治町内会の部で大台自治会が優秀賞に、幼稚園・保育所の部でみどり保育園が努力賞に選ばれています。



▲喜びの小松さん

農林水産大臣から感謝状

小松さんに永年協力者表彰

農林水産統計情報業務への長年の協力者として、このほど小松芳久さん

（高戸屋）に農林水産大臣から感謝状が贈られました。

同感謝状は、農林水産統計調査の記帳を五年以上継続し、農林統計情報業務推進のために協力された方に、十月十八日の「統計の日」を記念して贈られるものです。

小松さんは、十年間にわたり調査員として同業務に携わってこられました。今回の表彰はその功績が認められたものです。



知っておきたい Q&A

Q. 介護保険のサービスを利用していますが、サービス内容に不満があります。どこか相談するようなどころはあるのでしょうか。

A. 介護保険では、サービス利用者は保険料や利用料を支払っていますので、これまでと比べ、サービスに対する意見や苦情に応じる体制が整備され、言いやすくなりました。

サービス事業者でも、サービスに対する利用者からの苦情に応じるために、必要な措置を講じなければならないことになっていますから、こうした意見や苦情は事業者のためにもサービスの向上につながります。

事業者に対して直接苦情が言いにくい場合には、役場町民福祉課が苦情全般に対して応じますし、国民健康保険団体連合会においてもサービスに対する苦情を受け付ける窓口があります。また、ケアプランを作成しているケアマネージャーに相談してみるのもいいでしょう。

○介護保険サービスに関する苦情は

役場町民福祉課	0184-69-2117
秋田県国民健康保険団体連合会	018-883-1550

○福祉サービス全般に関する苦情は

秋田県福祉サービス相談支援センター	018-864-2726
-------------------	--------------

問い合わせ 町民福祉課福祉係 69-2117



年金だより

【国民年金保険料の追納制度】

国民年金には、申請免除や法定免除などの保険料免除制度や学生納付特例制度があります。

免除を受けた期間については、年金額を計算するうえで保険料を納付したときの3分の1で計算されるため、年金額が減額されてしまいます。

また、学生納付特例の期間については、年金を受給するために必要な資格要件としては見られますが、年金額には反映されません。

このため、この免除等を受けた期間については10年以内であれば後から保険料を納めることができます。これを追納制度といいます。

免除期間等のある方は、ゆとりができたらず追納することをお勧めします。

★平成14年度中に追納する場合の金額は次のとおりです。

免除・学生納付特例を受けた機関の属する年度	追納額（月額）
平成4年度	14,460円
平成5年度	14,850円
平成6年度	14,870円
平成7年度	14,860円
平成8年度	14,810円
平成9年度	14,600円
平成10年度	14,390円
平成11年度	13,830円

問い合わせ 町民福祉課町民係 69-2117

十一月家畜市場

東由利・成立

区 分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去 勢	26	303kg	491,440円	1,538円
雌	21	280kg	430,850円	1,463円
全 体	47	293kg	464,368円	1,501円

最高価格

	金 額	父	母の父	母の祖父
去 勢	598,500円	北国7の8	紋次郎	糸晴波
雌	583,800円	平茂勝	高 栄	紋次郎

木材共販市況

(平成十四年十一月・平均価格
四十五年生・五十五年生)

径 級	単 価 (石)	備 考
直材36cm上	4,947~7,000	高樹齢 (90年生) 含む
24~34cm	3,625~3,710	〃
14~22cm	2,801~2,803	〃
13cm下		
曲 り 材		

全般に弱含みの推移で枚数も減少してきた。

林業だより 護岸工事への 間伐材利用

土木工事用資材としてスギ間伐材を利用した需要拡大が期待されています。間伐材を利用している事例を紹介しましょう。

保呂羽山を源流として大内町から本荘市子吉川へと合流する芋川は、これまで大雨による氾濫を繰り返してきましたが、現在、災害を起こさない川を目指して、約七メートルの区間で河川災害復旧等関連緊急事業による河川改修が進められています。

河川改修の基本方針は、芋川

境や人々のふれあいを生み出す水辺空間を創ることとしています。

こうした期待に応えるために、自然環境と調和のとれた整備をしようということで、河川の橋脚周辺や川の曲がりの浸蝕されやすい部分に、従来用いたコンクリートを使わずに、間伐材を利用した杭柵工に詰め石をした木柵護岸や木柵に詰め石をした木柵護岸などの工事が進められています。この事例は、間伐材活用を推進する上で大変参考になるものと考えます。

(町林業懇話会長

佐藤恒悦氏)

愛の輪

献血をありがとう

成分献血 11月1日

(敬称略)

小松喜恒(下通 遠藤吉保
(小倉 阿曾綾子(宇戸坂
工藤恵(中ノ沢 三浦雅弘
(田代) 小松貞治(館合新
田 佐々木信幸(大琴) 佐
藤和広(蔵) 小松和美(山
崎) 小松信記(蔵) 小松正
二(下小路 遠藤晃(野田
高橋一心(五海保 遠藤哲
也(館西) 小松雄一(松柴
畠山正幸(下通 小松聖明
(須郷田)

おとなり情報

～本荘由利の催物などを紹介します～

金浦町から

2002年忘れお笑い文化講演会

と き…12月27日(金)

18:00開場 18:30開演

ところ…金浦町勤労者体育センター

内 容…宮川大助・花子親子のファミリーショー

◇前売り1,000円(当日1,200円)

金浦町公民館 38-2049

象潟町から

象潟町営スキー場開き

と き…12月25日(水) 10:00

ところ…象潟町営スキー場ロッジ前

内 容…初日午後から無料開放(14年度よりナイター営業はなし)

象潟町商工観光課 43-7504

鳥海町から

鳥海オコジョランドスキー場

と き…12月20日(金) 11:00

ところ…鳥海オコジョランドスキー場

内 容…初日リフト料金無料

鳥海町企画観光課 57-2202

ヘルシークッキング Vol.30

よりよき生活習慣で病気を予防する



「白身魚のおろし煮」(4人前)

《材料》(大:大さじ、小:小さじ)

かれい(切り身) 280g、砂糖小2弱、しょうゆ大弱、みりん大1弱、ダイコン160g、サヤエンドウ80g、生シイタケ40g

《作り方》

①ダイコンはおろし、サヤエンドウはゆでておく。

②かざり切りしたシイタケを煮て、その煮汁で魚を煮る。

③最後に大根おろしを入れ火を止める。

《アドバイス》

煮魚というと、どうしても若い人は敬遠しがちですが、薄味にして彩りを添えると、高齢者や子どもなど家族みんなに好ましいメニューになると思います。

(小松保健婦)

■11月に行われた
子育て講演会から■



▲11/9 町連合PTA研究集会（有鄰館）
～講師 山梨学院大学教授 宮塚利雄氏

教育文化課では様々な子育て支援事業を行っています。そのひとつに「子育て講演会」があります。広報十月号生涯学習だよりでもふれましたが、この事業は家庭教育の在り方を見つめ直してもらうため、各団体が行っている家庭教育について考える学習機会の際に教育文化課が一部協力するもので、今年すでに三回の講演会が行われています。

最終的には子育てを個人の問題としてだけではなく、世代を越え地域としてまた社会全体として考えることを目的とするものです。

■町連P、ことぶき高瀬で講演会

十一月に、これをふまえた様々な講演会が開催されました。

九日には町の小中学生を持つ父母を対象にした町連合PTAの第二十三回研究集会で、山梨学院大

「子育て」
応援します

子育て講演会



▲11/16 ことぶき大学（有鄰館）
～講師 臨床心理士 橋本まり子氏

十六日には町の高齢者を対象にしたことぶき大学で、臨床心理士橋本まり子氏による「いまどきの子育て」をテーマにした講演が行われました。これは現代の子育て事情に対する理解を深める目的で企画されたもの。参加者は昔との違いに驚きつつ、根底では変わらない子育てについて深く考えていました。



▲11/22 高瀬小PTA講演会（湯楽里）
～講師 臨床心理士 秋山邦久氏

PTAとして、また地域として子育て講演会を実施してみたいと思われましたら、お気軽にお問い合わせください。講師などの相談に応じます。詳細は教育文化課（六九―一三二）まで

学教授宮塚利雄氏による講演が行われました。テーマは「人と物の流れから見た日本と北朝鮮」。講演会終了後、多数参加した父兄がそれぞれ子育て情報交換を行っていました。

学校週五日制が始まり、町でも子供たちの生活習慣などを心配する保護者が多くなってきました。子供の生活について保護者が責任を持つのは当然ですが、そのためにどう子育てをすべきか、時に立ち止まって考えてみてはいかがでしょうか。

■学習機会を提供

を持つ親にとって現実的な話というところもあり、有意義な講演会になったようです。

公民館行事から

子どもの教育を考える

東田利町連合PTA
第23回研究集会



▲教育について真剣に考えたシンポジウム

十一月九日、有鄰館で町連合PTAによる研究集会が行われ、教育関係者など百余名が参加しました。

研究集会では「学校週五日制を実施して」をテーマにシンポジウムが行われました。社会教育アドバイザー佐々木暁氏をコーディネーターとして迎え、五人のシンポジストが教育を語り合いました。

「心豊かにたくましく生きる子供を育てるには」。参加者はそれぞれの立場から教育を考えていました。

より有意義な活動を

吉川流域四町
生涯学習奨励員研修会



▲活動充実を誓い合った研修会

十一月八日、有鄰館で生涯学習奨励員研修会が行われ、関係者など三十余名が集まりました。これは吉川流域四町（鳥海、矢島、由利、本町）の生涯学習奨励員が研修を通じ、日頃の活動や悩みを話し合い、より有意義な奨励員活動を行うため毎年持ち回りで実施しているもの。

研修会では、小松順之助さんの講演会、町内研修視察、懇親会が行われ、会を通じ奨励員は今後の充実した活動を誓いました。



今月と来月の二回、2002年に読んだ本のうち、よかったものを町民の皆さんに紹介していただきます。
紹介者 公民館図書室利用者の皆さん

「2002年私のベスト5」

- ① 椿山課長の七日間／浅田次郎
- ② コンビニ・ララバイ／池永陽
- ③ グッドラックらばい／平安寿子
- ④ マラケシュ心中／中山可穂
- ⑤ イン・ザ・プール／奥田英朗

①：『努力家で働き過ぎのデパートマン、椿山和昭46歳、過労で急死。でも、まだやり残した事が多すぎる。冥途の世界で無理を言って、姿形を変え、初七日の期間限定で現世に戻ってくるが、そこには知らない方が良かった現実が…。』文句なしに今年の一押しだ。この作品は「ありがと」と「ごめんなさい」この二つの言葉のほんとうの意味を、理屈じゃなく教えてくれるすごい本だ。笑って、泣けて、感動できる。浅田次郎の小説を読んで流す涙は、確かに全然もったいなくない。こういう作家にはぜひ、あまり偉くなりすぎずに小説を書き続けてほしいと思う。どうか長生きしてください。

②：同着2位。偶然だが両方

「ララバイ」がつく。しかし、前者は「沁みる・泣ける」(愚直な性格の人は読んだら絶対にハマる)、後者は「動揺・爆笑」(マイペースな性格の人は読んだら必ず共鳴する)と方向性は全く違う。特に平安寿子、日常小説のこんなうまい人は今まで知らない。二人とも遅咲きの作家なので著作はまだ少ないが、多分この先大変な事になるだろう。(公民館図書室に両方入ってます。気になる人は読んでみて 期待しています。

④：順位こそ控えめだが、今年一番の恋愛小説 誰も救ってくれない恋に落ちた、二人の姿が痛々しい。「この世には、好きになってはいけない人が多すぎる」という主人公のセリフ、私には著者の叫びそのものに聞こえる。本気で人を好きになるには大変な量の覚悟が要る。彼女の作品はどれを読んでも切なくて苦しい。今回は逃しましたが、次はぜひ直木賞を取ってください。

⑤：心身症(心の影響で体に異常が起きる)患者と、それを扱う精神科医の話。しかしここに出てくる精神科医、伊良部はかなりどうかしている。診て貰う患者が、自分の心配どころじゃなくなる程の暴走ぶり。でも結果として患者は全員、伊良部と関わって治るんだから、名医なのか?今年一番のワハハ本。ぜひテレビドラマ化してください。(U)

■平成十四年度私のベスト3

①セージ／辻内智貴

(自転車旅行をしていて、あるさびれたドライブインに立ち寄り、そこで出会った人々との間に起きた一つの出来事)

人の悲しみをこれほどまでさりげなく受けとめて思いやることができるのだろうかと思いました。読んでいて一瞬呼吸が止まり、あとは涙がこみあげてきました。

②十二番目の天使／オグマンディー

(家族を失い、悲しみにうちしがれている時、下手ながらも野球に一生懸命取り組む少年に会う。少年は病気におかされていたが決してあきらめずに最後まで努力し、取り組む

少年の一生懸命さに自分の生きる姿勢を反省させられました。中学生の子供も読み久しぶりに内容について意見交換することができました

③蒼穹の昴／浅田次郎

(中国、清の時代に貧しい生まれの李春雲が、占師の言葉を信じて努力し権力を手にしていく話)

それは官史となるための科擧登第とは別の道であった。が、中国における「位」に対する絶大さ、すさまじさを感じた。占師の言葉は実はうそであり、彼自身の努力によるものであった、ということこそ本人は知らない。(むっ)

※今回選んでいただいた一部の本は公民館図書室にもおいてあります。どうぞご利用下さい。

指導の原点を再確認

～本荘市由利郡スポーツ少年団指導者研修会



▲小松義典院長による講話

十一月十日、有鄰館でスポーツ少年団指導者研修会が開かれ、関係者四十名が参加しました。研修では小松歯科医院院長小松義典院長による講話「スポーツドリリンクが歯に及ぼす影響」が行われ、噛む事の大切さ、食生活の大切さを改めて学びました。その後予定されていたパークゴルフによる実技研修はあいにくの積雪のため中止でしたが、参加者たちはそれぞれの情報交換を通じて指導者としての役割を改めて確認していたようでした。

力作に審査員の目

～第十一回高橋宏幸賞賞状 秋田県コンクール作品審査会



▲感想画作品を審査する審査員の皆さん

十一月二十二日、町民体育館で高橋宏幸賞感想画審査会が行われました。会場には感想画が並べられ、審査員は作品を一点一点真剣に審査していました。今回は保育、保育園の部に六百二十五点、小学生の部に二千五百三十九点の作品が寄せられました。たくさんの方から選ばれた上位入賞者の表彰式は十二月十二日、有鄰館を予定しています。また町内および本荘市において上位入賞作品を展示しますので、後日ご覧下さい。

ふるふる
むかしむかし 六六

かくれみの

むかしむかし、山奥にかくれみのの（※注）を持った天狗がいると聞いた一人の若者が、一本の火吹き竹を腰に山奥に出かけました。若者は、木の切り株の上で古びた火吹き竹を目にあて、「うわあ、見える見える、お江戸はおるか京の都まで見える」とわざと大きな声でいいました。

すると、大きな樺の木のかげから天狗がのそと現れ、「おい、それはなんだ。わしにくれえ」といいました。若者はしめしめとばかりに「これは千里眼という遠めがねだ。天狗のかくれみののとなら取りかえてもいいが」と答えました。天狗は「なに、わしの宝物とかくれみのを着たら姿が消えるんだぞ」といったものの、どうしても江戸や京の都を見たくなり、火吹き竹とかくれみのを取りかえることにしました。

さつそく天狗が遠めがねをのぞいてみると、なんと見えるは近くの山ばかり。だまされたことを知って悔しがってもあとのまつりです。かくれみのを着て姿を消した

若者は、まんまと山を下りて逃げたのでした。

麓に着いた若者は、姿を消したまま茶店のまんじゅうを食べたり、娘さんの鼻をつまんだり、いたずらのしほうだいです。「こいつはいい物が手に入った」と大喜びで家に帰ってきた若者は、腹が一杯になったせいか眠くなり、村中の大騒ぎをよそに、ごろりと横になると、ぐうぐうと昼寝をはじめました。

そこへ用事から帰ってきた母親は、脱ぎすててあったかくれみのを見ると、「なんと汚いみののだから」といって、畑の隅に持っていく、火をつけ燃やしてしまいました。

目を覚ました若者は、これを見て思わず泣きそうになりましたが、「そつだ、この灰を体に塗ってければ姿が消えるかもしれないぞ」とさつそく塗ってみると、とたんに姿が消えてしまいました。

喜んだ若者は、前と同じようにまんじゅうを食べ、今度は酒屋に行きました。たらふく酒を飲んだ若者



は、帰る途中で小便をもよおし、道端でジャージャーと用を足しました。すると、小便で濡れたところの灰が落ち、そこだけ見えるようになってしまったのでした。

そんなことは少しも知らず、若者はまた酒屋に入って飲み始めました。徳利がひとりでに傾いたり、盃が浮いたりするので、これを見た村人は、初めは驚いて遠巻きに見ていましたが、そのうち小便のかかったところだけが覚えてきました。こうして本性が分かれた若者は、怒った村人にぎゅうぎゅうに取り押さえられ、これまでのお話しをしてあやまつたということです。

（※注）みの…わらで編んだ雨具
（文と絵）石渡力造氏

季節を詠む

（せせらぎ句会）

漁火の一つ灯りし十三夜	中通 小松 順之助
栗剥いて世間話に相槌す	新町 寅田 敏雄
一口のおちよこ褒め合うにこり酒	五海保 嶽 石レイ
暮早し小さき星のまたたきて	時雨山 吉川 葉子
芋嵐そそける髪に又吹けり	横小路 宮野 源二郎
はらからの咽ぶ涙に秋深む	蔵新田 小野 貞子
身をすくめ橋上に見る谷紅葉	舟木 大庭 喜右衛門
穂芒にまねかれ沈む夕日かな	蔵新田 小笠原 亮子
吊し柿夕日たちまちうすれゆく	舟打場 高橋 民治郎
秋蕭条美田を割りし測量旗	久保 高橋 典三
強霜に一夜残せしもの思う	小倉 遠藤 トミ子
荒れし田の郷に囁るや走り蕎麦	秋田市 嵯峨 義之
収穫を終えて安堵の夜長かな	蔵新田 小笠原 トミ
人棲まぬ軒に生き継ぐ烏瓜	横渡 高橋 ヒデ子
丸木橋葛に埋もれし峡の道	山崎 小松 良子
通草の実ひもじき日々をふり向かず	横小路 小松 丈介
蝗追いばてて畦草つかみけり	下小路 小松 メサ
長き夜の辞典引く手に虫眼鏡	高戸屋 小松 敏雄

暮らしのワンポイント



シルク衣料を傷めずに洗う

最近は何かが安く「手洗い可」も増えたシルク製品。でも、デリケートな素材なので、取り扱いには注意が必要です。シルク衣料を手洗いするときは必ず中性洗剤、いわゆる「おしゃれ着用洗剤」を使ってください。綿製品などに使う弱アルカリ性洗剤だとシルク独特の光沢が失われる心配があります。

湯音は三〇℃以下。軽く押し洗いをし、たっぷりの水ですすぎます。手早くするのがコツで、洗いからすすぎ終わるまでを六〜七分で済ませるようにします。水にぬれたまま、バスタオルに包み、脱水機で十〜十五秒くらい脱水すると生地が傷みません。陰干しをして、生乾きのときに裏からアイロンをかけるときれいに仕上がります。

ナチュラルチーズを楽しむ

年末年始はパーティなどで人が集まる機会が多くなります。そんなときのおもてなしにチーズがあればとても重宝。切

って並べるだけで立派な一品になります。かつて一般的だったプロセスチーズだけでなく今はナチュラルチーズも豊富に出回り、料理やお酒に合わせて多種多様なチーズを楽しむ人が増えていきます。熟練したプロが作るチーズにはかないませんが、カッテージチーズなら家庭でも簡単に作れます。方法は、温めた牛乳五百 に酢を大さじ1の割合で入れてよくかき混ぜ、固まってきたらふきんでこすというものです。



アイドルをさがせ!

齋 藤 さつきちゃん
(新町・1歳)
お父さん：一 さん
お母さん：和 子さん
お話し：和子さん

名前の由来は?

「5月生まれということもありますが、さつきの花のようにきれいでかわいらしくなってほしいと願い、『さつき』と付けました」

性格は?

「最近すごく世話好きになり、ご飯を食べるときは皆にお皿や箸を渡しています」

家族では誰が好き?

「お父さんっ子で、何をするにもほとんどお父さんです。寝るのも一緒ですごく仲が良いです」

お父さんとお母さんからさつきちゃんへひとこと

「すごく元気いっぱい、毎日とても楽しく過ごしています。これからも元気にいろんな事をしていっぱい遊ぼうね」



小 野 昭 枝さん (下通・21歳)

一職業は

ガソリンスタンドに勤務しています。

一趣味は

音楽をよく聴きます。

一性格は

すったげ元気です。

一目標(夢)は

お嫁さんになりたいです。

一理想のタイプは

優しくておもしろい人。

一家族に一言

21年間こんなに大きく育ててくれて本当に感謝しています。



東由利
郷土の野草

NO.214

カタバミ (カタバミ科)

文・写真 小松忠正氏

道端や野原など日本だけでなくヨーロッパ、アメリカなど、ほとんどの国に分布している多年草で、全体に修酸を含んでいるため噛むと酸味があります。茎は枝分かれし、下部は地面を這ってのびます。葉は互生した3小葉で黄色の5弁花をつけます。写真は花後のもので円柱形の種子囊が見られますが、この中に淡褐色の小さい種子が入っていて成熟すると5個に裂けるとともに、袋が急速にねじれ、種子を斜め上方に飛ばします。生の葉の汁は寄生性の皮膚病に効果があるといわれます。

データ東由利

住民基本台帳		
	10月末人口	前月比
男(人)	2,378	0
女(人)	2,543	- 1
計(人)	4,921	- 1
世帯数(戸)	1,382	3

	10月異動人数	1月からの累計
出生(人)	0	12
死亡(人)	3	43
転入(人)	6	57
転出(人)	4	101

消防・交通		
	10月発生数	1月からの累計
火災出動(件)	0	2
救急出動(件)	7	100
交通事故(件)	0	7
死亡(人)	0	0
傷者(人)	0	8
飲酒運転(件)	0	0
酒気帯び(件)	2	4

戸籍の窓口

(10月21日・11月20日届出)

●お誕生おめでとう

11/4 畑山 絢香ちゃん 伸行 五海保
11/15 板垣 磨生子ちゃん 武志 大琴

●結婚おめでとう

11/4 高沢 真希子さん 黒瀨 羽後町
11/17 桐原 真希子さん

●こめい福をお祈りいたします

11/2 小笠原久雄さん(52) 克子・夫・祝沢
11/6 佐藤徳一郎さん(69) 正博・父・律沢
11/7 阿部ヨシエさん(90) カオル・母・上通
11/7 佐々木 進さん(82) 健・父・大琴
11/9 小松 和子さん(74) 耕之助・妻・下小路
11/10 畠山忠市郎さん(94) 茂・父・蔵重光雄
11/13 小野ウメヨさん(93) 喜一・母・湯出野
11/17 畠山孝一郎さん(68) スズエ・夫・石高

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

12月の行事予定

- 2 家庭バレーボール交流大会(～18日、毎週月・水)
- 3 予防接種(個別・ツ反)
- 5 // (個別・BCG)
- 10 予防接種(個別・三混)
- 11 機能訓練教室
- 13 1歳6カ月児健診
- 17 議会定例会初日
- 食生活改善講習会
- 19 保健対策推進協議会
- 20 大平スキー場オープン
- 機能訓練教室
- 22 高橋宏幸児童話秋田県コンクール表彰式
- 23 天皇誕生日
- 27 役場仕事納め



読者からの投稿

投稿者 須郷田 小野 久 亮さん



「屋敷内の木からとれた栗です。イガのない栗は珍しいのではないかと思います投稿してみました。味の方は普通の栗よりも甘みがあっておいしいです。」

みなさんからの珍しい写真やおもしろい写真をお待ちしています。

おれ

(10月21日・11月20日)

広報送付謝礼として次の方から金一封をいただきました。

大家隆さん(小山市)、伊藤栄子さん(村山市)

社会福祉協議会に次の方から芳志が寄せられましたので紹介します。

小笠原克子さん(祝沢)

ほっとひといき

例年より一足早く雪が降った今年の冬。あわてて車のタイヤを交換した方もいるのではないのでしょうか。私は去年、帰宅途中に下りカーブで180度回転という恐ろしい体験をしたので(幸い事故もなく無事でしたが)、今年は絶対安全運転を心がけようと思っています。それにしてもこの季節、大活躍するのは除雪オペレーターのみなさん。なんと夜中の2時半から作業を開始するそうです。私たちが毎日安心して道路を通れるのも、こういった人々の努力があるからなんです。 (管)